

(キ) スクールタクトによる成果共有

概要：本校1年生を対象にしたグローバル探究Iは、2学期から、興味関心がある分野から、それぞれが気になる持続可能性を阻害する問題について、探究テーマを設定し、原因を探りながら、より良い未来を作る方法を考えることを目的として活動を行った。この活動を3学期にも継続し、まとめとして、ゼミ内で活動するグループをランダムにシャッフルし、各ゼミの生徒間で探究活動からわかったことや提案などをプレゼンテーションする交流会を実施する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響により、対面によるグループワークが制限されるとともに、クラスをまたいだ生徒の移動が制限された。このため、当初予定していたプレゼンテーションによる交流会の実施が困難となった。

このような制限をうけた状況でも、ゼミで行った活動を1年生全体で共有するために、以下の方法で、各ゼミで活動をおこなったグループの成果を共有した。

1. SchoolTaktで「最終報告書」（A4用紙横書き1枚と同じおおきさ）のテンプレートを配信し、各自でiPadを用いて記入させた。
2. SchoolTaktで書き込んだ内容を「協働閲覧モード」でクラス全体にシェアし、コメント機能を用いて、複数の報告書に対してコメントをさせる。なお、その探究がより良くなるようなコメントをする（批判的なコメントをしない）ように指示をした。実際のSchoolTaktの画面を以下に示す。
3. 自身の報告書に対してのコメントに、さらに返信をさせた。
4. 他の生徒がそれぞれのゼミでどのような活動を行ってきたのかを共有することで、この世界には様々な「問題」があることを考察させた。さらに、それぞれの「問題」がもつ「共通点」についても考察させた。

The screenshot displays the SchoolTakt app interface. The main content is a student's final report titled "ゼミ別活動最終報告書" (Final Report by Seminar). The report includes a title "ゼミ名 (いのちの輝きを未来に伝える)" (Seminar Name: Passing on the Shine of Life to the Future), a date "02/03(木)", and a student ID "(1)年(5)組(9)番 名前()". The report contains several sections: a list of activities, a pie chart showing "やましい" (guilty) and "やましい" (guilty) percentages, and numbered points 1 through 5. Point 1 discusses the impact of eating trash on deer. Point 2 mentions a field trip to Nara Park. Point 3 discusses the impact of trash on deer. Point 4 discusses the impact of trash on deer. Point 5 discusses the impact of trash on deer. The report also includes a section for "ポストスター" (Post Star) and a section for "コメント" (Comments). The comments section shows several replies from other students, such as "「やましい」とはどんどころに捨ててあったゴミですか?とても気に入りました!!" and "同じことをしたのに全く別物のような完成度...写真、グラフ、色をうまく使っていてとてもわかりやすいです".

イ グローバル探究II 全体計画

【対象】 2年生
【時間】 火曜7限、金曜6・7限
【目的】 1学期 <ul style="list-style-type: none">● 世界のさまざまな問題に目を向ける● 持続可能な社会を作る生き方と自分の将来（進路）をつなげる● 探究テーマを見つける 夏休み <ul style="list-style-type: none">● 探究テーマを深める 2学期・3学期 <ul style="list-style-type: none">● 探究テーマに沿って持続可能性を阻害する問題について、その原因を探りながら、より良い未来を作る方法を考え、実践する● 自分たちの学びを人に伝える、仲間の活動から学ぶ
【計画】 1学期 <ul style="list-style-type: none">● 新聞ワーク<ul style="list-style-type: none">・ 新聞を読む・ それぞれが新聞から気になる記事を見つけ、深掘りする・ ニュースについて、その背景について、興味を持った理由などをグループで共有、意見交換● になりたい自分、未来の自分について考える<ul style="list-style-type: none">・ 『学問探究BOOK』（リクルート）を読む（春休み課題）・ 興味のある研究や研究者の記事を読み、それについてグループで共有、意見交換● SDGsについて考える<ul style="list-style-type: none">・ 教員ワークショップ● ゼミ選択<ul style="list-style-type: none">・ 6つのゼミのどこに所属するか、その理由とともに作文・ 6つのゼミにわかれて活動スタート 夏休み <ul style="list-style-type: none">● ゼミによって、ミーティング、調査、研修など実施 2学期 <ul style="list-style-type: none">● 探究ゼミごとにファミリー活動● ゼミ内共有会（10月中旬）<ul style="list-style-type: none">・ ゼミ内でファミリーごとに報告会を実施（日本語）・ ゼミ代表チーム（持続可能な社会づくりのために、広く知らせたい内容の活動）を決定● Garr Reynolds名誉校長によるプレゼンテーション講演会● 学年発表会（12月中旬）<ul style="list-style-type: none">・ ゼミ代表チームは英語で発表・ ゼミよりゼミ全体の取り組みを説明する人を選抜・ 11月最終週より放課後発表練習会

- ・ WWL全国高校生フォーラムに出場のチームは特別枠での発表
- ・ ゼミ代表チームより、1チームが奈良県の課題研究発表会に参加

冬休み

- ゼミによって、ミーティング、調査、研修など実施

3学期

- 探究共有会に向けて、プレゼン準備

春休み

- ゼミによって、ミーティング、調査、研修など実施



新聞ワーク



進路探究BOOKワーク①



進路探究BOOKワーク②



学年発表会

みんながでつくる

笑顔のコミュニティー

防災・まちづくり
福祉・医療
経済・教育 など

いのちの輝きを

未来に伝える

生物多様性
保全・共存

環境問題

蒼い地球を

未来につなぐ

気候変動
地球温暖化
エネルギー

持続可能な社会を目指して

For Our Sustainable Future

先人の知恵を
未来へ届ける

伝統文化継承
世界遺産
地域遺産

グローバルが

生み出す力

国際理解
国際協力
多文化共生

みんなちがうから、
みんなが支え合う

平和・人権
インクルーシブ
多様性

Mindfulness ・ Peacefulness ・ Well-being